

● 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

★ モンゴル船籍の台船が城川内沖で座礁 大しけの影響でワイヤ切れる

2月7日、城川内集落の堂崎の南約150mの浅瀬に、モンゴル船籍の台船「天祐」1190トスが座礁しました。この台船は、熊本県八代港から中国に向かっていましたが、6日の深夜の荒天で、台船を押していた船から「つないでいたワイヤが切れた」と第十管区海上保安本部に通報がありました。幸いけが人はなく、撤去するよう保険会社と交渉中とのことです。



重油の抜き取り作業が行われた座礁した台船↑

★ 蔵之元小学校の恒例行事 特色ある教育活動で地域に貢献

蔵之元小学校（星野勤校長）は「特色ある教育活動」で1月30日、恒例となった高齢者宅へ花苗の宅配活動を行いました。この日は、グループに分かれ蔵之元校区内の37軒を訪問。対象となった70歳以上の家にデージーの花苗と手紙を添えてプレゼントしました。高齢者の一人は「子どもらに会えるのが毎年楽しみ」と笑顔で受け取りました。村平紅太くん（6年）は「いつもありがとうと言われうれしかった」と話しました。

このほか食育活動として2月3日、約4カ月育て豊作となったジャガイモを町内の二つの福祉施設を訪問し贈呈しました。養護老人ホーム長生園と特別養護老人ホームあかね園では、入所者らが「立派でおいしそう」と喜んでいました。

また、地産地消の推進として、長島町学校給食センターで同校のジャガイモを使った「豚肉とジャガイモの味噌煮」の給食献立が立てられ、町内の各小・中学校に提供されました。脇田夏未さん（3年）は「やわらかく、ほくほくしておいしかった。また来年も蔵之元小学校のジャガイモを使ってほしい」と自慢の味をかみしめていました。

自家製炭窯にびっしりと孟宗竹を敷き詰める作業↓



★ 「唐隈自然を守る会」で炭焼き体験 竹炭で環境保全を考える

唐隈集落の資源を守る会（上筋睦雄会長）は、1月29日、唐隈子ども会育成会の会員を対象に、炭焼き体験を開催しました。

この取り組みは3年目となり、事前に準備しておいた孟宗竹を小割し、使い古したドラム缶などで作った自家製の炭窯で焼き上げました。後日、焼いた炭は、唐隈子ども会育成会が同集落内を流れる川に沈め、環境保全について勉強しました。

デージーの花苗と手紙を手渡され喜ぶ高齢者↓



↑豊作となったジャガイモを拾い集める児童ら